

令和3年度

第1回池田市公共事業評価委員会

会 議 録

日 時	令和4年3月23日(水)
	10時00分～11時30分
会 場	池田市役所3階 議会会議室

令和3年度 第1回池田市公共事業評価委員会議題

附議事項

第1号 役員の選出について

第2号 都市再生整備事業事後評価について（阪急池田駅周辺地区・阪急石橋駅周辺地区）

以上

議 事 録

1. 会議の名称 令和3年度第1回池田市公共事業評価委員会
2. 開催日時 令和4年3月23日（水）
10時00分～11時30分
3. 開催場所 池田市役所3階議会会議室
池田市城南1丁目1番1号
4. 出席者 別紙のとおり
5. 議 題 附議事項
第1号 役員の選出について
第2号 都市再生整備事業事後評価について（阪急池田駅
周辺地区・阪急石橋駅周辺地区）
6. 議事経過 別紙のとおり
7. 公開・非公開の別 公 開
※非公開の理由
8. 傍聴者数 0 名
9. 問合せ先 池田市まちづくり推進部都市政策課
(072) 752-1111 内線364
(072) 754-6262 (ダイヤルイン)
mail : t-seisaku@city.ikeda.osaka.jp

令和3年度第1回池田市公共事業評価委員会 議事録

1. 開 会

<資料確認等説明・課長挨拶>

2. 議案第1号 役員の選出について

事務局

それでは、これより議事に入ります。議案第1号『役員の選出について』でございます。

議案書の1ページをお開き願います。当委員会の委員長と委員長代理の選出でございます。

お手元にお配りしました参考資料の池田市公共事業評価委員会規則をご確認いただきたいと思います。

規則の第5条により、委員の互選により委員長を選出することとなっておりますが、本日は第一回ということですので、事務局から案として提示させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

《異議なしの声》

ありがとうございます。それでは、事務局案としては、加賀委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

《異議なしの声》

ありがとうございます。それでは委員長につきましては加賀委員とさせていただきます。加賀委員長、よろしくお願いいいたします。

委員長

皆様方のご協力ご支援をいただきまして重責を果たして参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、これより委員会の議事進行を承りましたので、よろしくお願いいいたします。

次に、委員長代理の選出でございますが、委員会規則第5条第3項の規定により、委員長代理は委員長が指名することとなっておりますので、私から指名させていただきます。

田中委員にお願いしたいと思います。田中委員いかがでしょうか。

《田中委員承諾》

ありがとうございます。それでは役員が決定しましたので、議案書1ページにあります、委員長の欄に、加賀有津子、委員長代理の欄に、田中貢とお書きください。

3. 議案第2号 都市再生整備計画事業事後評価について

委員長

続きまして、議案第2号『都市再生整備計画事業事後評価について』でございます。

事務局より議案の説明よろしくお願ひします。

事務局

第2号議案『都市再生整備計画事業事後評価について』ご説明いたします。議案書3ページから9ページとなります。

最初に『阪急池田駅周辺地区』の整備計画について説明させていただきます。計画としては、阪急池田駅を中心とした48.7ha整備が必要な区域と定め、平成30年度から令和3年度までの期間で実施しました。最終の事業内容としては、基幹事業として池田地域交流センター、栄本町ポケットパーク、府道箕面池田線緑化施設等、満寿美公園及び施設機能である情報板や地域防災施設である耐震性貯水槽、防災倉庫、雨水貯留槽、提案事業として池田地域交流センター内でのしごと相談・支援センター整備、公益活動促進センター整備、最後に整備計画事業の効果分析調査を実施しました。

各事業の内容として、満寿美公園は約1800㎡の都市計画公園として整備を行いました。立地としては、阪急池田駅とカップヌードルミュージアムを繋ぐ道沿いに存在しており、市民だけでなく、観光で来られた来訪者も利用できる駅の南側の拠点としての価値があると考えております。また、災害時には近隣住民の避難場所としての、防災公園としての機能も有しております。池田地域交流センターは、国道173号の沿線に位置しており、誰もが利用できる地域交流センターに、しごと相談・支援センターや公益活動促進センター等を集約した複合施設を整備し、交流活動の拠点とするほか、周辺施設との連携強化、相乗効果を図り、まちの活性化や地域が稼ぐ力のサポートを図っていきます。ポケットパーク及び府道箕面池田線緑化施設整備は、池田駅の北側の五月山へ続く道、通称さくら通りのベンチや植樹柵等の整備を行うものであり、五月山への道の美装化を図りつつ、イベント等に活用できるポケットパークにより、市民や観光で来られた来訪者に楽しんでもらえるような魅力ある空間を形成するものです。次に地域の課題及び目標については、池田駅周辺地区の課題として、「駅周辺の歴史・文化施設を活かした中心市街地の活性化」「市民や来訪者が回遊して時間消費ができるよう、既存の彫刻・モニュメントなど地域資源を活かした魅力ある歩行空間形成」「市民や来訪者が快適に利用でき、

集い憩える空間形成」の三つがあり、これらの課題を解決するための目標として、駅周辺での「自然と歴史・文化を活かした賑わい・交流ができる池田」の創出を行うために、この度の都市再生整備計画事業を実施するものです。また目標の定量化として、阪急池田駅1日平均乗降客数、観光施設の利用者数、阪急池田駅の空き店舗率の抑制、(仮称)池田地域交流センター利用者数の4つを指標として設けております。それぞれの指標の達成状況の確認方法としては、整備計画作成当初の値から整備事業完了時に達成する目標値、実際の達成値にて確認を行っていきます。阪急池田駅1日平均乗降客数は平成27年の値である乗客数14,298人、降客数13,592人に対して、令和3年に乗客数15,000人、降客数14,300人に増える見込みではありましたが、達成値としては、乗客数11,000人、降客数10,500人に減少しています。要因としては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、電車の利用が減っており、乗降客数についても大きく減少したものと考えられます。観光施設の利用者数については、平成28年度1,600,000人に対して、令和3年度1,700,000人に増える見込みでありましたが、達成値としては、595,000人に減少しています。要因としては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、カップヌードルミュージアムの入場制限等に利用者が大きく減少しております。しかし、令和元年度時点では1,767,000人とあり、感染症の影響がなければ目標達成していた見込みとなります。阪急池田駅の空き店舗率の抑制については、平成28年度9.0%に対して、令和3年度9.5%抑制を図る見込みではありましたが、達成値としては、16.2%に増加しています。要因としては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、空き店舗の増加があった物と考えられます。しかし、令和元年度時点では推計値8.8%とあり、感染症の影響がなければ目標達成していた見込みとなります。(仮称)池田地域交流センター利用者数については、平成29年度52,405人に対して、令和3年度55,000人に増える見込みであり、令和4年5月の供用開始後に指標の計測を行う予定です。また、当初の指標の他に、池田市に住み続けたいと回答した割合について、総合計画策定に伴う市民アンケートより、平成21年61.6%に対して、令和2年に74.4%に増加しており、本計画による整備も含め、市全体でのまちづくり施策により、定住意向が高まったものと考えられます。最後に今後のまちづくりに関する方策として、令和3年度時点で、まちの課題についても変化があるものと考え、「既存の彫刻やモニュメントなどの地域資源が活かされていなかったが、府道箕面池田線の緑化施設と(仮称)栄本町ポケットパークの整備により、魅力ある歩行空間が形成され、市民や来訪者が回遊して時間消費できるようになった。」「市民や来訪者が快適に利用でき、集い憩える空間が不足していたが、満寿美公園と(仮称)池田地域交流センターの整備により、市民活動や拠点として向上する見込みである。」とし、今後のまちづくり方策の検討を行いました。池田駅周辺地区の今後のまちづくり方策としては、「駅南空間(せせらぎモール等)、駅北空間(池田駅前てるてる広場等)等の再整備により、まちの玄関口にふさわしい

空間を創出する。」「府道箕面池田線と市道本町通りの結節点にある、(仮称) 栄本町ポケットパークとコミュニティセンター跡地を、阪急池田駅と五月山緑地等をつなぐ、ウォークブル拠点として一体的に整備する。」「都市計画道路(菅原新町線、猪名川満寿美線)を整備し、観光拠点であるカップヌードルミュージアム大阪池田と阪急池田駅間の回遊性向上を図る。」「サカエマチ商店街の滞在機能を向上させる。」が必要であると考えております。また別事業ではありますが、官民連携による池田駅周辺の地域活性を図るため、いけだ駅前活性化プロジェクトにて、駅周辺エリアの未来ビジョン策定に向け官民連携で駅前空間の利活用等の検討を進めており、ポケットパークを駅周辺の観光施設のハブ拠点として、せせらぎモール等の駅前空間であったり、その周辺の駅前公園や城跡公園等の利活用について実証実験となるイベントを今後開催する予定です。

続きまして『阪急石橋駅周辺地区』の整備計画について説明させていただきます。計画としては、阪急石橋駅を中心とした14.8ha整備が必要な区域と定め、平成30年度から令和3年度までの期間で実施しました。最終の事業内容としては、基幹事業として石橋拠点施設、石橋拠点施設と合わせて石橋図書館、石橋阪大前駅周辺路地空間美装化、提案事業としてダイバーシティセンター整備、阪急池田駅周辺地区と同様に整備計画事業の効果分析調査を実施しました。各事業の内容として、石橋拠点施設は石橋会館があったところに新たに近隣の住民の方々ができるような公共施設を複合的に整備したものとなっております。また、石橋阪大前駅周辺路地の美装化につきましては、商店街の北側路地や商店街内のアーケードや駅南側の石橋地域拠点施設へ続く道の美装化を行いました。地域の課題及び目標につきましては、人が憩い交流し滞留するために必要な機能が不足している、商店街のイベントや石橋阪大前駅周辺の魅力を効果的に情報発信ができていない、来訪者を総合的に案内が不十分である、飲食店街の環境整備が不十分である、駅周辺は建物が密集し道路の幅員も狭く、またバリアフリー化が必要の5つの項目が課題となっております。これらを達成する目標は、子供と子育て世代が集まれる石橋、人が憩い交流する愛着のある石橋の実現です。この目標を達成する指標としまして、阪急石橋阪大前駅の一日平均乗降客数、(仮称)石橋地域拠点施設の利用者数、阪急石橋阪大前駅の空き店舗率の抑制、石橋図書館の利用者数の4つです。それぞれの指標達成状況としまして指標1阪急石橋阪大前1日平均乗降客数の従前値として乗客数が13,036人、降客数が12,618人、令和3年度に達成目標として乗客数が14,000人、降客数が13,500人、実際の達成値としては乗客数が10,500人、降客数が10,200人と大きく減っている状況となっております。要因として新型コロナウイルスの影響で減少したものと考えています。指標2(仮称)石橋拠点施設会館利用者数、また指標4(仮称)石橋図書館利用者数については共用開始が令和4年4月を予定しておりますので、共用開始後に指標の計測を行う予定です。指標3阪急石橋阪大前駅の空き店舗率の抑制の従前値は5.5%、目標値

は6.3%とし、達成値は8.6%と増となっております。要因としましては新型コロナウイルスの感染拡大の影響による増加と考えております。また、令和元年度時点では推計6.1%と抑制が図れていたものと考えられますので、新型コロナウイルスの影響がなければ目標は達成していた見込みとなっております。その他の指標につきましては、池田駅前周辺と同様に池田市に住み続けたいと回答された人の割合は従前値が61.6%だったところ74.4%に増えている状況になっています。今後のまちづくり方策として、まちづくりの課題の変化、「人が憩い交流し滞留するために必要な機能が不足していたが石橋地域拠点の整備により図書館、子育て支援施設、ダイバーシティでの多世代の交流の場が創設できる見込みである。」「飲食店街の環境整備が不十分であったが石畳やカラー舗装、照明施設の整備により歩行者が安全で快適に歩ける空間を確保することで飲食店街の賑わいや活性化に寄与した。」「駅周辺は建物が密集し、道路の幅員が狭く、また歩道のバリアフリー化が今後は必要である。」「石橋地域拠点施設整備により来訪者数の増加が見込まれるが施設前の歩道が整備されておらず歩行者が安全に歩ける環境ではない。施設前の歩道を整備し歩行者の安全を確保することが必要である。」こちらの内容を今後のまちづくり方策の中で検討した結果、まちづくり方策として、「石橋地域拠点施設でのにぎわい創出のため、市民との協働により施設の維持・管理を行うとともに、住民活動を啓発・支援する交流拠点の形成を図る。」「石橋地域拠点施設の整備により来訪者の増加が見込まれるため、施設前の歩道を整備し、歩行者の安全を確保する。」「石橋地域拠点施設への動線上の今井水路や、商店街内水路の環境が良好でないため、修景整備もしくは暗渠化を図り、歩行者動線を強化する。」「都市計画公園（箕面川公園）を整備し、川や緑を身近に感じながら滞在できる空間を創出する。」「サンロードの舗装を更新し、今井水路以東部分の将来的な歩行者空間化をめざす。」「市道石橋天神線の舗装未更新区間を整備し、商店街の回遊性向上を図る。」「石橋駅前公園（ステージ広場）や石橋玉坂公園の再整備を行い、駅周辺での滞在機能を強化する。」「石橋阪大前駅東西の動線を強化し、さらなる商店街のにぎわいや活性化を図る。」と考えております。また、石橋阪大前駅周辺に関しましても現在、当課の方で都市計画マスタープランの見直しを行って行く中で石橋阪大前駅周辺にお住まいの市民の方にまちづくりに関してワークショップを随時行っており、その中で様々なご意見をいただいているところです。以上で説明を終わらせていただきます。

委員長

ご説明ありがとうございました。

池田駅周辺地区と石橋駅周辺地区につきましてそれぞれご説明いただきましたが、委員の皆さま、ご意見、ご質問がございましたら、よろしくお願ひします。

委員

コロナがあったので目標達成度の指標だけをみると三角とバツしかないのは仕方がないことだとは思いますが、評価の意味とは別に三角やバツをつけることに意味があるというよりは今後どうしていくかということについて評価を踏まえて検討するということが一番大事なことだと思っています。そのように考えると3点あります。

1点目はまちの課題の変化というところにコロナの話が出てこないのはどうかという気がします。当初予定していなかったコロナが起こったという大きな社会変化を踏まえて新しい生活様式にまちづくりの中でどう対応していくかということはある種、まちの大きな課題の変化と捉えてもいいのかなと思います。そのことは横に置いて、もうすぐ収まるから元に戻るだろうという話ではなく、私たちがコロナで経験してきたことを資産として活かして、まちづくりに繋げていく姿勢が大事だと思っています。もう少しまちの課題の変化や今後のまちづくりの方策のあたりに、そのような視点も含めたらいかがかなと思います。新しい生活様式に対応した身近な公共空間での過ごし方を充実していく等、コロナの経験を踏まえて、ますます重要になってきていることだと思っていますので、そういったことを踏まえて今後こういうまちづくり方針を定めていくという姿勢を示される方がこの機会に得たものを積極的にまちづくりの方針に反映していこうという姿勢が感じられていいかなと思います。

2点目は国交省が出している評価の手引きが充実していいと思いました。7-22 ページの様式4-3に数値目標達成できなかった指標にかかる効果発生原因の整理という項目ですが、池田市のフォーマットには要因の分類や改善の方針の項目については見受けられないので、可能であればこのような項目も入っているといいと思いました。7-28 ページの様式5-1 や5-2 に今後のまちづくり方策にかかる検討の体制やまちの課題の変化のところについても池田市の様式では課題の変化を一行で書かれています。達成されたこと、課題の解決、事業によって発生した新たな課題というような書き方をされている項目にもなっていて、そのまま採用されたらいいということではありませんが、書き方の例としてとても参考になる視点が含まれていると思いますので、この辺りを踏まえてもう少し考えられるようであれば書きぶりや項目を変える等の工夫はあるかもしれないと思います。

3点目は次への課題ということになりますが、単純な量的指標4つだけでは測りえなかったということが一番大きな評価結果だと思います。単純な量的評価に加えて定性的な評価等、複合的にしていかないと先の見通せない社会の中ではただ単に量だけの評価はなかなか難しいと感じたので、次回以降は評価指標の在り方について検討は必要だと思います。合わせて意見公募ゼロ件でしたといのも2週間公開して意見を求めるのに無理があると思うので積極的に事業を行った場所で住民の方々に何件かアンケートを取ってみるとか、そういうプッシュ型の行政側から積極的に地域の方々の意見を聞きに行くことをしないと、どうぞ言ってくださいという

態度だとなかなか意見の収集は難しいのではないのかなと感じました。

委員長

ありがとうございました。たくさん意見をいただいております、1つ目はコロナの影響をまちの課題の変化や今後のまちづくり方策の中に入れたらいかかということでした。2つ目は国交省の評価の見本を参考にして、もう少し書きぶりや項目の工夫が必要だというご指摘をいただいたと思います。3つ目は次への課題として指標が4つでは足りなかったということで池田駅・石橋駅の様式2-1 評価結果のまとめの(4) 定性的な効果発現状況に今後定性的な内容を記載するということも考えらえると思います。他にはいかがでしょうか。

委員

私も同じ意見で人流の数だけで評価する評価の仕方についてはもう少し色々な視点があってもいいと思います。武田委員がおっしゃっていたように、例えば地域交流センターであれば、この建物に対してデザインや色や使いやすさ等ひとつひとつの事業に対してもっと色々な視点で評価の仕方があってもいいのではないかと思います。人流が増えればそれでいいのかということもあります。コロナ後ということであれば、もっとまち全体でIT化を進めないといけないのかなと思います。次に向けてもっとこうしたらいいということであれば、もう少し色々な視点でみていったらいいのかなと思います。

委員長

ありがとうございます。人流だけではない評価の仕方ということで各事業においてデザインや使い方等、具体的な評価を考えてはどうかというご意見でした。他にはいかがでしょうか。

委員長代理

エリアの現在もっている地域的な課題が気になります。ポケットパークの整備や道路の美装化や避難所の整備もいいが、民有地が変わっていける仕掛けのところに繋がられたのが気になっています。どちらかと言えばそこがメインで、そこに火をつけるきっかけみたいなものがここで紹介できたらなと思っています。例えば石橋でいうと駅への接近性能について50年程ほったらかしになっています。それは個人が考えるのではなく地域として考え、交通の関係者である阪急が今のままでいくのか、駅を上げるのかの議論を交通の施設関係者の意見がないと固まっていけないと思います。交通や居住の快適性のようなところを更新するのであれば、そんなことも踏まえて、どういう仕掛けの中でどのようなやり方で進めていけば実現されるのかなと思います。右肩上がりの社会ではない時代を迎えているので、小さな単位で更新していくような仕掛けのようなもので、絵に描いた餅から少し実現性が高

まることに繋がっていけたらという希望をもっています。

委員長

ありがとうございます。今回の事業をひとつのきっかけとして周辺の地域のいろいろな更新に繋がって地域の賑わい等に繋がっていけたらということでした。居住性や防災性や地域の賑わいには交通事業者にも話を聞く必要があるというところで、今回どのあたりまでを事後評価として考えていく必要があるのかということを経務局としていかがでしょうか。

事務局

この計画を作成した当初は人の数が増えたらという視点だけで計画を策定していたのかなというところで、今回整備をしていく中で地域の方々の満足度やただ人が通り過ぎるだけではなく滞在時間を増やしていくこと等が今後必要になってくると思っています。この整備をきっかけに今後のまちづくりを検討していく中で今取り掛かっていることとして池田では官民連携によるまちなか再生に交通事業者である阪急電鉄や阪急阪神不動産も入っていただいたプラットフォームを構築できていますので、その中で池田駅周辺につきましては社会実験という形で色々なイベントをしながら公共空間の利活用の提案いただいたものを実際にやってみて満足度のアンケートをとって拾っていくというようなことを重ねながら、定性的なものも拾っていけたらと思います。石橋については、まだそこまでの取り組みはできていませんが、都市計画マスタープランの改定を機に地域に入ってワークショップを行い始めたところで、集まっていたいただいた方を中心に今後もワークショップのようなものを継続的にやっていきながら、池田のプラットフォームの経験を活かして、これから考えていけたらと思います。

委員長

ありがとうございます。他いかがでしょうか。

委員

1つは質問でもう1つは意見となりますが、池田の地域交流センターについては今建てているところをあまり認識できていません。石橋のダイバーシティセンター石橋拠点施設は建物がきれいに完成していて、名前も公募されて「ツナガリエ石橋」ということで大々的にPRされています。池田の地域交流センターはいつ完成して、どういう名称になるのか教えてほしいです。

評価に関する意見としては、他の委員がおっしゃるように指標の検証については工夫をしていただきたいということはあると思いますが、私は指標の立て方が間違っていると思っています。池田も石橋も中身の事業については来訪者向けの施設の充実や改善に重きをおいているわけではなく住民に対してのサービスを向上するような施設

整備が中心かなと思います。にもかかわらず駅の乗降客の増減を指標にするというのは、明らかに指標の設定ミスだと感じます。人を呼び込むための施設を作っているのであればいいですが、池田のセンターも石橋のセンターも明らかに市民を対象にした施設でありながら、こういう指標を設定するというのはちょっと無理があるかなと思います。本当にこの事業を実施したことでこの指標に影響がでるのか十分に考え切れていない市町村が多いと感じています。これから考えていくのであれば指標の設定の在り方はもう少し考えた方がいいと思います。最初に武田委員がおっしゃったように、まちづくりの方策なんかで、その辺りの方向性をどう考えるのかというところはフォローアップ等を含めて、しっかりと考えて検討しておく必要があるのではないかなと思います。

委員長

ありがとうございます。池田地域交流センターについて進捗具合や名称はどうなっているかという質問とご意見としては指標の立て方についてミスマッチが起きているのではないかということです。この事業は市民向けのサービスが中心と思われるが、指標自体は来街者を対象としているということです。指標をどういう考え方で立てられたのか私の方から質問させていただきます。2点、事務局からご回答をお願いします。

事務局

まず1点目のご質問ですが、池田地域交流センターの場所は川西に抜ける呉服橋の北側の国道173号沿いにあります。工事は3月末までになっており、オープンは6月予定と伺っています。場所としてはピアまるセンターの向いになります。ピアまるセンターには今はコロナのためやっていませんがコワーキングスペースを設けており、池田地域交流センターには仕事相談支援センターのようなものが市の機能として入りますので連携できないかと考えています。ハローワークの横に市の施設であるコミュニティーセンターがあり、コミュニティーセンターの耐震化ができていないということで取り壊しを予定しており、こちらに元々あった公益活動促進センターというNPO団体を支援するような施設と会館施設を池田地域交流センターに移転させております。コミュニティーセンターの跡地活用も今後の検討課題になっており、先ほどから申し上げておりますプラットフォームの中でも提案をいただけたらというところで会議を進めさせていただいております。

委員長の方からご質問いただきました指標について当初の考えは、まずは地域の賑わいを出していくことで市民の活動がみえ、町の中で話題性がでることにより、来街者に興味をもってもらい、池田に立ち寄ってみようかなと思ってもらえるのではないかと考えました。池田においてはカップヌードルミュージアムや五月山動物園に観光客が160万人来ていましたが、その方々が目的地だけ行って帰られてしまっており、駅の中での回遊性が見受けられなかったため駅の周辺で市民活動が

活発になることによって目的以外の回遊性が生まれないかなと考え設定しているところですが、確かにそういう指標は整備してすぐにできるようなものではないと今回わかりましたので、指標の考え方は今後もう少し考えていかなければいけないと思います。

地域交流センターの名称ですが、市民活動交流センターと所管課の方で決められています。

委員

評価の作り込み方について、実施過程の評価のところでは先ほどご説明あったように都市計画マスタープラン策定の中で石橋はワークショップをされていることやまちなか再生の関係でいうと池田駅界隈を中心に市民と意見交換をされているので、その結果を実施過程の評価の実施状況のところには都市再生整備計画に記載はなかったが実施したという項目を入れていただいているので、もう少し石橋駅や池田駅周辺でどういう評価をされたのかどういう意見があったのかというところを今後の対応実施内容のところには項目だけではなくどういう意見があったのか、どこかの様式に書けるのであれば書き込んだ方がいいと思います。定量評価だけではなく、定性評価としてワークショップで生の声を聞いているわけですから、この指標設定の時には考えていなかったけど関連事業の中でやっていることを活かして、今後の対応方針のところも今関連してやっていることがたくさんあるので、そこでの意見や考え等を入れた方がしっかりと都市再生整備計画事業を評価しているとみせられるのではないかと思います。その辺を工夫していただく方が見た目だけではなく中身のあるいい評価になるのではないかと感じております。

委員長

都市計画マスタープランのワークショップ等から直接住民の意見をいただく機会があるので、それを活かしてまちづくり方策や実施過程の評価等に入れ込んでいただけたらと思います。ありがとうございました。私の方からも定量的な指標だけでは測りきれなかったのが、どのように記していくかが必要かなと思います。石橋や池田のワークショップの意見を今後の政策に反映できるようなまとめ方をしていただき、これまで繋がりがあるような活動をされているので杓子定規ではなく、それを上手く繋げていただけたらと思います。他にご意見いかがでしょうか。

委員

こういう事業の場合、ビジョンも大事だと思いますがディテールも大事だと思います。例えば箱物を作る場合は美しい建築を作ってほしいです。地域交流センターはコンペですか。

事務局

デザインにつきましては、市の公共建築担当部局の方で実施設計の入札をして決まった設計業者と協議調整をしながら作られたものです。ツナガリエ石橋についても同様です。

委員

池田と石橋とデザインが全く違います。凝ったデザインでなくてもいいが、公共事業の建築は美しい建築にしてほしいです。例えば公民館でも愛想のない建物で、あまり市民が親近感を抱かないと思います。ディテールということであれば、ハローワーク前のポケットパークにベンチもありますが、ここで人が憩っている姿を見たことがありません。ここにモニュメントがあるよりはケヤキの大木でも一本あった方が木陰もできて人が集まると思います。そういうディテールにもう少し気を配っていただけたらと思います。駅前のケヤキを切りましたが、あれも国の補助事業でさせたのでしょうか。

事務局

阪急の駅前広場の更新の中で阪急が事業をされています。

委員

あれはとても残念です。できた後をみても何がしたかったのかよくわかりません。あんな大きな木を切ってまですることだったのかなと思います。そういう細かいことにも気を使っていかないと、せっかくのビジョンが駄目になってしまうと思いますので、この辺をお願いしておきたいと思います。

委員長

ありがとうございます。ビジョンだけではなくディテールも大切にしながら進めていく必要があるということでした。他にはいかがでしょうか。

委員長代理

イメージだけの話ですが、阪急の池田駅や石橋阪大前駅と同じような乗降客数でいうと豊中駅は周りが再開発でオアシスが入ったりしています。次は蛍池駅、これもちょうど乗り換え口になっています。石橋阪大前駅だけあのような状態であり、池田駅へ行くと再開発がかかっている車もバスも寄り付けます。川西能勢口駅でいうと再開発されて今の状況になっています。必ずしも右へならえする必要はないが、例えば阪急の岡本駅でいうと交通広場なしで自己更新しながら交通事故も起こさずやっています。国道2号まで歩くだけでバスに乗り換えることができます。そのようなことをイメージすると石橋も違う答えがあるのではないかと思います。そのところに安全策を踏まえながら上手く誘導して、今活動している人たちも自己満

足できるような答えがありそうなので、それを検討していただけたらと思います。

委員長

ありがとうございます。阪急石橋阪大前駅ならではの答えが考えられるのではないかということでした。他にいかがでしょうか。

委員

これはお願いですが、まちづくりということは、町並み作りでもあると思います。この事業からいうと町並み作りの視点が抜けていると思います。私は豊中市、吹田市、高槻市、箕面市等の近隣の市で3・4階の共同住宅を建てていますが、各都市の市条例はとても厳しいです。池田市が一番緩いです。駐車場の附置義務、ごみ置きスペースの確保、高さ制限、緑化制限等、何もありません。一番きついのは高槻市で300㎡超えると市条例がかかって開発の確認申請をおろすのに半年かかります。もう二度としたくないと思います。目先の人口を増やそうと思って建てていくと町並みがどんどん崩れていって池田もここ20年で城下町の面影がなくなってしまい町並みが崩れていっています。結果的に高槻は人口が増えています。厳しくするとみんなゆったり建てるのでいい町並みが残っていきます。20年先をみて条例をもっと厳しくしていただかないと、今は無法地帯になっていて高層マンションが建っています。古くから池田が好きで住み続けていた市民の前に突然高いマンションが建って日照権等が奪われ、市に言いにいっても守ってくれません。そのようなことを言えば業者に訴えられると言われたそうです。行政が市民を守ってくれない感じがとてもします。10万人の都市に高層マンションはいらないと思います。建築基準法を守っているからと業者は言いますが、建築基準法は最低ラインであって、それに市が条例で色々な規制を課していく、建てる側からすると嫌ですが市民の立場からすると厳しくしてほしいと思います。池田だけが近隣説明で終わっていて同意を求めています。これは市民を守っていないということだと思います。市条例は見直し、厳しくしていただき町並みがこれ以上崩れていかないようにしてほしいと思います。

委員長

ありがとうございます。市条例を見直すという今回の委員会の内容には入らない大きな話だと思いますが貴重なご意見として承りたいと思います。他にはいかがでしょうか。

私の方から意見を述べさせていただきます。今回の事業はハード整備を主体として行っていますが、地域活動を活性化していき、それを基にして来街者を増やしていこうということであれば、まずはソフトの仕掛けを一緒に考えないと上手くいかないと思います。定性的な部分になるかもしれませんが、ソフトとの関係性を考えながら、今後のまちづくり方策を考えていただけたらと思います。

事務局

委員長がおっしゃられているとおりハード先行のまちづくりではなくソフトの視点でのまちづくりが非常に重要であると考えております。その辺りを石橋、池田では市民参画の協議会を組成しつつありますので、その中で色々ご意見いただいたものをハード整備に活かしていけたらと思っております。ありがとうございます。

また、町並みについても貴重なご意見ありがとうございました。市条例の方は当課だけでは動かせるものではありませんが、町並みについては都市計画審議会の方でもご意見いただいています。池田市はまだ景観計画を策定していないので景観計画策定について取り組んでいけたらと思っております。具体的に予算をつけて取り組むところまではできていませんが国の補助をとりにいけるよう検討を進め、近い内には景観計画を作成し、景観行政団体に移行して規制をかけていけたらと思っております。

委員長

条例の記述的なこともご検討いただけたらと思います。ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

委員

参考までに先ほどの町並みの話で、総合計画の検討の段階で令和2年度に私のところに無作為抽出でアンケートが届きました。今アンケート結果をみると、景観が良いか小学校区ごとに割合を出していますが池田の真ん中から山手側の校区は借景で五月山が見渡せるので景観が良い、一方で真ん中から南側で空港に近づくにつれて景観が悪いよう印象になっています。市民の中にバックで大きな緑があるので綺麗な町という概念がありますが、町中をじっくり歩いてみると確かに崩れてきていて、その辺市民も含めて目を向けてきていなかった反省はあると思います。そういう意味ではこういう事業ごとのビジョンの中で大きく町並みをどうしていくのか謳う必要があると思います。都市計画マスタープランはまだ策定段階なのでしっかりと書き込んでいただいて、次の個別の事業に繋がるように考えていただけたらと思います。

委員長

ありがとうございます。景観について市民にも目を向けてもらえるようビジョンの中で謳っていただけたらと思います。他にはいかがでしょうか。

それでは意見も出尽くしたようですので、議案第2号については以上とさせていただきます。

それぞれの委員から、貴重なご意見をいただいたかと思っておりますので、事務局におかれましては、事後評価シートへの反映をよろしく申し上げます。

4. その他

委員長

それでは予定しておりました議案はすべて終了いたしました。その他、本委員会の今後の予定等、事務局より報告等がありましたらよろしく申し上げます。

事務局

本日は大変貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。いただきましたご意見、ご指摘を踏まえ、今回お示ししました事後評価シートの修正・更新をさせていただきたいと思っております。先ほど武田委員からご指摘いただきました国の作成手引きに基づいて作成の方をさせていただきまして、添付様式5等へ書き込んだものを皆様にお示しできたらと思っております。その上で事業完了時点の評価として公表し、国へ提出させていただきます。

なお、各施設の利用者数や両駅の乗降客数について結果として今回よくなかったものもフォローアップを行いますので、その結果も報告させていただきます。今後、池田駅や石橋阪大前駅の地域の方々と話し合った結果を次期都市再生整備計画の策定の中で実現できるよう計画策定を進めていく予定としておりますので、その際は事前評価についてご意見をいただきたいと思います。よろしく申し上げます。

次回委員会の開催については、フォローアップや次期計画案の策定をさせていただいて秋頃に開催させていただきたいと思っております。改めて日程調整をさせていただきますので、よろしく申し上げます。

5. 閉会

委員長

ありがとうございました。

それでは、本日の委員会は終了することにします。委員の皆様におかれましては、慎重審議、誠にありがとうございました。